

トピックス

(新型コロナワクチン集団接種)

令和3年7月から令和4年3月末現在、新門司体育館・旧大連航路上屋・門司生涯学習センター大里分館での新型コロナワクチン集団予防接種に当院の医師3名・看護師・准看護師32名を派遣致しました。また、当院において門司区内の医療関係者の方々への新型コロナワクチン予防接種も実施致しました。今後も必要な協力要請があれば積極的に協力していきたいと思います。



猿鳴新田塩抜き穴

1731年から32年にかけ大飢饉で大量の餓死者が出たことを機に門司の庄屋であった石原宗祐(いしはら そうゆう)が私財を投じ猿鳴海岸約33haを開拓し、新田開発を行った。塩抜き穴は海水を新田内に入り込ませず、塩分の高い排水を海へ流すための水門で堤防の両端に2基ずつ作られた。現在は東側の2基のみが残り、当時の姿をそのまま確認出来ます。2003年3月に北九州市指定文化財に認定されました。



診療のご案内

■診療科目

精神科 | 神経内科 | 内科 | リハビリテーション科 |

■特殊外来

アルコール専門外来 | ものわすれ外来 |

睡眠専門外来 | パーキンソン専門外来 |

Access



■診療時間

■月曜から金曜日

9:00～12:30 受付12:00まで

13:30～17:00 受付16:30まで

■土曜日

9:00～12:30 受付12:00まで

新患受付は午前11:30・午後16:00まで

■休診日

日曜・祝日・土曜日の休診は外来受付

あるいはホームページでご確認下さい

編集・発行責任者 院長 白川伸一郎
発行日 2022年4月1日

発行部数:250部

★広報誌のバックナンバーは当院ホームページでご覧戴けます。

新門司病院

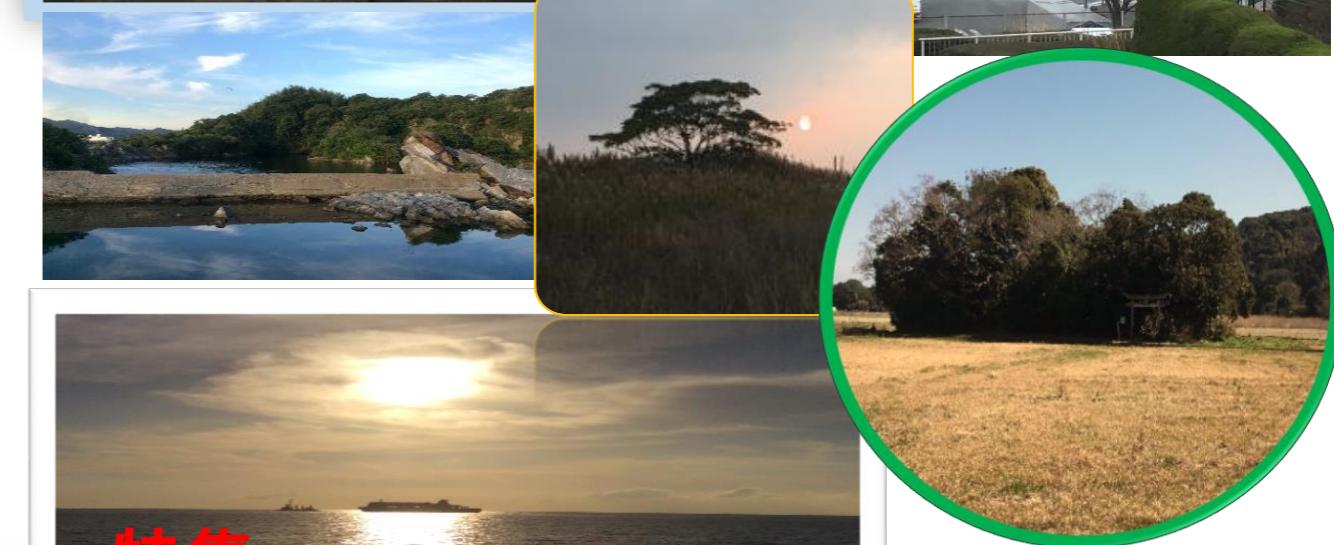
検索

表紙の写真

新門司(松ヶ江地区内)での撮影



2022
Vol 43
April



特集 活動・イベント紹介

- 新任医師紹介
- トピックス
- 診療案内 アクセス



特集



感染対策により現在、休止及び縮小化しているイベントや活動を紹介します。

【ふれあい祭】

開院以来、「盆踊り、運動会、文化祭」等の年間行事を行ってきましたが入院患者さんの高齢化や社会情勢により開催が難しくなりました。地域の方々とのつながりを大切にして開かれた精神科病院を目指し、令和元年より全ての行事を集約して「ふれあい祭」として開催しています。入院患者さんが、ご家族や地域の方々と楽しく過ごす機会でもあり、コロナ終息後には再開する予定です。



【アヴェニール家族会】

精神科デイケアに通所中の患者さんの家族会です。スタッフからデイケアでの活動内容や日頃の様子を紹介しています。さらに、自宅で困っていることや病気、薬、障害福祉サービス等についての相談や質問ができる交流の場です。主治医や看護師、作業療法士、精神保健福祉士が専門の立場からお答えします。お悩みについては、参加しているご家族の意見や助言も頂きながら、より良い解決策を皆で考えてまいります。



【さるびあの会】

認知症の方を介護しているご家族が認知症や介護について学び、介護での不安や悩み等を語り合い、励まし合う交流会です。不安や悩みはご家族だけでなく、医師や看護師、作業療法士、精神科福祉士等の専門スタッフも共に考えながら解決していきます。コロナ終息後に再開しますので気楽にご参加下さい。



【地域での活動】

猿喰新田塩抜き穴の清掃作業、松ヶ江北校区行方不明搜索訓練、出前講座、猿喰地区グランドゴルフ大会、防災協会等、多くの活動に参加させていただいています。今後も基本的理念の一つである「地域への社会貢献」の為、再開時には、多くの活動に引き続き参加させていただく所存です。

*猿喰新田塩抜き穴については次ページで紹介しております。



【福祉体験学習】

10年以上前から近隣の松ヶ江中学校の生徒さんが当院の精神科病棟と認知症デイケアで「知る」を目的に体験学習を行っています。毎年、10数名の生徒さんが来られ、今では患者さんのみならず職員も楽しみにしている活動です。生徒さんと接しているときの患者さんの笑顔は格別です。早く再開することを心待ちにしています。



【症例発表会】

職員の知識、技術の向上の為、年2回(3月・9月)行っています。また、発表の中から選ばれた症例を年1回開催される、九州精神保健学会で毎回、3つの演題を発表してきました。近年では、平成30年、令和2年に優秀賞として表彰されました。現在も休止することなく感染対策を行い縮小化し実施しています。(九州精神保健学会は休止中)



新任医師紹介



精神科医 佐竹義泰

今年3月から5病棟を中心にお世話になっています。佐賀県出身で現在は、福岡市在住です。北九州は、初めて勤務するところですごく楽しく勤務させていただいています。仕事ではなかなか慣れない面などでご迷惑をかけることもありますですが患者さんに寄り添う形で頑張って行きたいと思います。また褥瘡を含んだ創傷などでお役にたてればと思いますので気軽に問合せ下さい。私生活では、ちよくちよく帰りの小倉駅での立ち食いうどんの誘惑を断ち切れない今日この頃ですがメタボの改善を目標に頑張ります。よろしくお願ひ致します。